

# みくに



社会福祉法人 みくに園

障害者支援施設 みくに成人寮

TEL: (0879) 68-3104 FAX: (0879) 68-3920

〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦902-1

HP: <http://www.teshimamikunien.com>

わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。

(ローマの信徒への手紙 15章1節)

## 「地域における公益的な取り組みについて」

副施設長 亀井 進吾

平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の役割を明確化するため、「地域における公益的な取り組み(以下公益事業)」の実施に関する責務規定が創設された。法の中では、「社会福祉法人は、日常生活または社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを提供するように積極的に努めなければならない」とされている。みくに園においては、地域における社会福祉法人としての役割を果たす取り組みとして豊島老人会、土庄町社会福祉協議会豊島部会との「芝桜みくに公園」の整備、地域の老人会への交流の場の提供等を行ってきた。今後も状況に応じた取り組みや対応が必要になっている。

また、私は社会福祉法人サンシャイン会主催で毎月開催されている「地域ネットワーク会議」に参加している。スクールソーシャルワーカー、保育士、介護福祉士、両町社会福祉協議会、その他福祉関係者等、様々な職種の方々が参加している。会議では事業所毎の地域に向けた取り組みに関する活動報告や、地域の課題やニーズを共有し、課題解決への話し合いを行っている。会議に参加する中で事業所単体では公益活動を行うことに限界があると感じた。施設の中で日常業務を行っているだけでは、地域のニーズを見つけることは難しい。参加しているメンバーの中には地域住民と密接に関係している方もおり、有益な話を聞くことができる。自閉症・発達障害者のグループ、親の会等、今まで知る機会がなかった団体にも繋がる事ができる。みくに園でも何か協力できることがないか、積極的に会議に参加し関わることで公益事業への発展を考えていきたい。

なにより熱い志を持ったメンバーが集まっているこの会議は、参加するだけで私自身も公益事業を十分に意識づけることができた。引き続き地域との関わりを大切にしながら、地域に貢献する施設でありたいと思う。

## 防犯訓練の実施

2016年7月に起きた相模原障害者施設殺傷事件からちょうど2年が経った。

あの恐ろしい事件以降、みくに園においても防犯への意識がより高まり幾度となく話し合いの場が持たれた。窓ガラスに防犯シートを貼る、休日や夜間は玄関や門を閉めるなど、外部からの不審者の侵入を防ぐように努めている。また、離島であるがゆえに警備会社と契約し安全を確保することが難しい。そのため自分たちの身は自分たちで守らなければならないことを痛感していた。

そんな時、豊島駐在所より防犯訓練実施の要請があった。そこで、不審者が園内に侵入するという設定で地域の方を交え訓練を行った。訓練は傘やほうきなど身近な道具を使った不審者への対応、大声を出す練習、110番の通報方法などが実演しながら行われた。年々、豊島の観光地化が進み、人の出入りが激しくなっている。様々な人々を受け入れている状況の危険性にも目を向け、緊張感を持つことも重要だと考える。

今後サーチライトの設置やさすまたの購入なども検討しながら、さらに犯意識を高めていきたい。



## 施設内研修報告

5月22日みくに園において、香川県立中央病院の言語聴覚士、自閉症スペクトラム支援士である宮本寛氏をお招きし、「3つの成功事例から読み解く問題行動への対処方法」と題した研修会を行いました。保護者の方も参加し、実際にみくに園で取り組まれた事例をあげながら、利用者の行動には「要求」、「注目」、「回避」、「感覚刺激」の4つの目的があり、それを踏まえて問題である行動を分析することの大切さを学びました。職員の研修レポートから、感想を抜粋します。

- ・根拠を持って冷静に対応し、良い行動にはすかさず強化できる言葉を準備したい。
- ・問題行動の前後を観察して問題行動の目的を理解した上で対処しなければならないと強く感じた。
- ・利用者の問題行動を我々職員の行動によって強化してしまうケースが多々あることに気付かされた。
- ・問題行動の解決には職員の一致団結が必要不可欠。職員で一貫した支援が出来るようになっかり話し合い、全員で取り組んでいきたい。

また、新たに入所した利用者に研修を踏まえた取り組みをし、問題行動が減ってきたと実感しているところです。今後も継続して取り組んでいきます。 (大西 記)



### <諦めなし>Part113 Iさんとドリル

職員との関わりを少しでも増やしたいと思い、Iさんと個別課題に取り組んで5ヶ月が過ぎた。

まずは点と点を繋ぐドリルで線をなぞることから始めた。職員が説明すると線は上手に力強くなぞることができる。ドリルに挑戦するIさんを見守るうちに「自分の名前は書けるのだろうか?」「日付は分かるのだろうか?」と疑問を持つようになった。試しに名前を書いてもらうよう声掛けをしたところ、Iさんは困惑し書くことをやめてしまった。形で自分の名前は分かっているようだが、いざ書くとなると難しい。そこで、職員が名前や日付を赤文字で書き、なぞってもらうようにした。毎日練習しているうちに自分の名前や日付も書けるようになるかもしれない。

ドリルにはたくさんの動物や果物が載っている。少しでも楽しくドリルをするために、動物の名前を言いながらIさんに話しかける。そうすると他の動物には無反応なのに対して、ゾウの絵を見た時だけIさんに笑顔が見られた。「Iさんはゾウが好きなんだ。」とIさんの好きな物を発見できてとても嬉しく思った。これからも個別に関わることで、利用者の新たな一面を発見していきたい。  
(丸岩 記)



### <諦めなし>Part114 みくに船に乗って



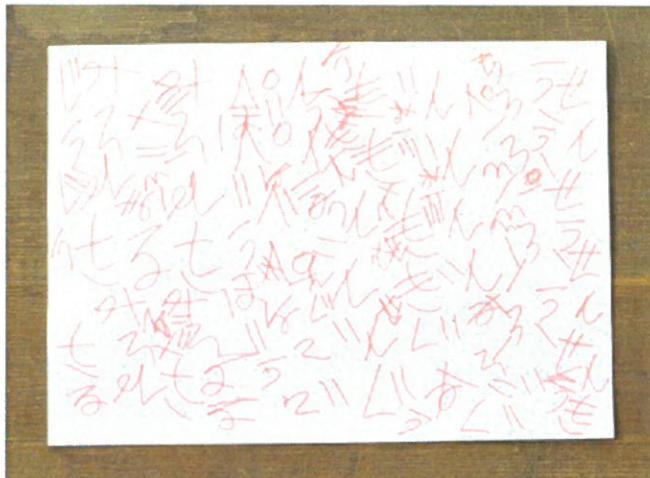
3番館には車椅子の利用者や身体が不自由な利用者が多い。そのため長時間の外出が体力的に難しく、島外へ出かける機会が少ない。利用者からは「買い物に行きたい」「美味しい物が食べたい」という声が多く上がっていた。そこで今回、みくに船で高松へ行く計画を立てた。みくに船はバリアフリーとなっていて、車椅子の方でもスムーズに乗降できる。そして、何よりみくに園所有の船なので体力に合わせたスケジュールを組むことができる。当初予定していた日が大雨で延期になったこともあり、てるてる坊主を作つてお天気を願いながら、みんなでワクワクとその日を待った。

そして当日、久しぶりの外出にみんな嬉しそうだった。雑貨屋で服やカバンを選んだ人、100円ショップでかごいっぱいに好きな物を入れていた人、それぞれが目を輝かせて買い物を楽しんでいた。買い物の後は、自分の好きなクレープやアイスを食べて一休み。みんな笑顔で口いっぱいに頬張っていた。とても充実した1日を過ごし、「また行きたいわ」と言う利用者の喜ぶ顔を見ながら、これからも楽しみを増やしていきたいと思った。  
(古川 記)

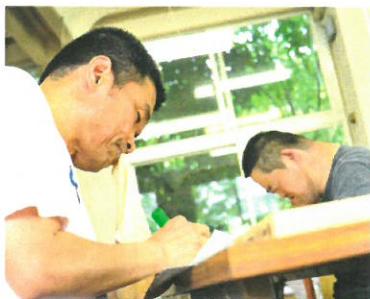
## ギャラリーみ(に)

### ～河津順一さん～

毎週月曜日と火曜日に行われているアート活動で、利用者さんが制作した作品を紹介します。



複雑に絡みあう線。よく見ると平仮名なのです。「さる」「ふろペラ」「でんしや」「ふうせん」「ぺんぎん」etc…。たくさんの単語が、暗号のようにリズミカルに散りばめられています。書き順もユニークで、描いている手元をずっと追っていても、すぐには何の単語か判別できません。河津さんの文字は私たちに、まだ文字というものを知らなかった子どもの頃の感覚や、遠い外国で未知の文字と出会ったときの新鮮さに似た驚きを与えてくれます。



## スプリンクラー設備等の整備工事

平成29年度香川県社会福祉施設等施設整備費補助金を受けて、みくに成人寮（一般棟・高齢者棟）のスプリンクラー設備等の整備工事が完了しました。ありがとうございました。



スプリンクラー  
タンク



スプリンクラー

### ～夏まつり～

7月21日豊島中学校の生徒と教員、大学生ボランティアの協力のもと、みくに夏まつりを開催しました。かき氷に輪投げ、たこ焼きに焼きそばなど手作りの屋台を堪能しました。



### <行事予定>

8月 2日	済生丸検診
8月11日～17日	夏休み
9月 8日	スポーツ大会
10月18日	1番館遠足
10月19日	3番館遠足
10月22日	2番館遠足

### 家庭の日のお礼

今年も暑い中、溝掃除とソラマメのさやとりに参加して頂きありがとうございました。今回の大雨に対して備えることができ、大きな被害を防ぐことができました。

### 編集後記

西日本豪雨で被害にあわれた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一刻も早く普段の生活が戻りますようにと願っております。

7月、普段なら七夕飾りを利用者と作り、天の川が見える雲のない夜空になると良いねと話す時期ですが、西日本にこれまで経験したことのない大雨が降りました。幸いにもみくに園では被害がありませんでしたが、ニュースを見ながら、これが災害が少ないと言われていた岡山なのかと愕然とし、広島や愛媛の被害にも声が出ませんでした。

今年は災害といわれるほどの猛暑が続いている。皆様何卒ご自愛ください。

E-mail:kkgk03317@nifty.com

FAX:0879-68-3920